

## 平成 29 年度 相談技術研修(基本編)実施要綱

### 1 目的

相談援助職に求められる知識・技術について、演習を中心に事例検討も交えながら学びます。また、援助実践を自分自身の財産として蓄積していくために必要なことは何かを考えていきます。

### 2 主催 社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会

### 3 対象及び定員数

主として、相談業務を担当して概ね 3 年未満の職員で、3 日間受講できる方 40 名程度

### 4 日程 平成 29 年 6 月 27 日(火)、7 月 4 日(火)、7 月 18 日(火) 各日ともに 10 時～16 時 ※詳細は、「8 日程・カリキュラム」をご覧ください

### 5 会場 神奈川県社会福祉会館（横浜駅西口より徒歩 15 分程度）

### 6 講師 ひえだりか 稗田里香氏（東海大学 准教授/元北里大学東病院 MSW）

### 7 日程・内容

	テーマ	内容
6 月 27 日(火) 10 時～16 時	<b>面接技術演習①</b> 援助関係を築くための、最初の一步がインテークです。専門職としての、相談者の迎え方から、相談目的を抑えた質問方法などについて、ポイントを確認します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢面接(インテーク)の体験</li> <li>➢面接についての講義</li> </ul>
	<b>面接技術演習②</b> 援助職主導ではなく、相談者の思いを引き出す面接になるよう、必要な心構え、質問の仕方などを確認します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢良い面接と悪い面接の演習</li> </ul>
7 月 4 日(火) 10 時～16 時	<b>記録技術①</b> 記録の目的、相談内容の落とし込み方など、記録の基礎となる要素を確認します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢記録についての講義と演習</li> </ul>
	<b>記録技術②</b> 記録から読み取れる問題の所在と、記録を活かした支援の見立てについて、ケアマネジメントシステムを援用しながら、検討します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢事例を通した、記録の書き方と社会資源アセスメントについて学ぶ</li> </ul>
7 月 18 日(火) 10 時～16 時	<b>事例検討</b> これまでに学習した面接・記録のポイントを活かしながら、事例検討を行います。また他職種連携に配慮した文面づくりも実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ブレインストーミングによる事例検討の実際</li> </ul>
	<b>振り返りとまとめ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢自分自身の気づきと変化の点検と今後の志向性</li> </ul>

